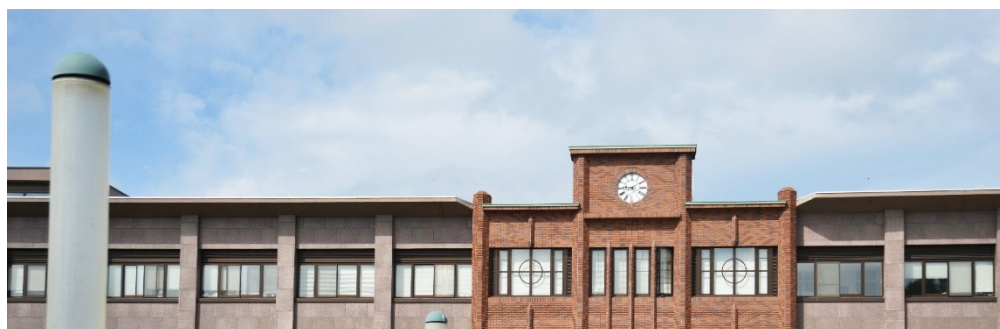


News Letter

Vol.23 2026.5.14



イベント情報

「カルビーポテト(株)との共同研究成果発表会」を開催しました！

3月25日、本学とカルビーポテト株式会社による共同研究「持続的な加工用バレイショ栽培における適正施肥と土壌改良に係る技術普及」に関する成果発表会を開催しました。当日は農業関係者ら約250名にご参加いただき、盛況のうちに終了しました。



(会場の様子)



(講演する谷教授)

『十勝型フードシステム形成プロジェクト』始まりました！



十勝型 フードシステム
形成プロジェクト

帯広市、北海道国立大学機構（帯広畜産大学・小樽商科大学・北見工業大学）、とかち財団、十勝総合振興局が連携し「十勝型フードシステム形成推進協議会」を設置し、十勝地域における農畜産業と食品産業の持続的発展をめざす取組を進めています。

3月27日（金）、とかちプラザ（帯広市）において、「十勝型フードシステム形成プロジェクト キックオフシンポジウム」を開催しました。*詳しくは[こちら](#)

本プロジェクトのプロモーションビデオを公開しています。ぜひご視聴いただき、本プロジェクトへの理解を深めていただくとともに、今後の展開にご期待ください。

*プロモーションビデオは[こちら](#)

発行：

帯広畜産大学 産学連携センター



プラットフォームの参画状況

参画機関数は 115社

(会員数 137名) です。

産 100社

学 3 機関

官 8 機関

金 4 機関

* プラットフォームHPは

[こちら](#)

公募・セミナー情報

●帯広畜産大学公開講座 帯広市民大学講座 「乳牛への肉牛受精卵移植」： ウシの繁殖に関する研究と技術進歩が畜産業に与える影響

今回のテーマは、肉牛の体外受精卵を乳牛の母牛に移植して、生まれる子牛は肉牛（和牛）、産んだ母牛はその日から大量に乳を出す（牛乳）、という経済効率が良い新しい生産システムと技術です。道内・十勝でも多くの生産現場で普及しています。

このテーマに関してよく分からないが国際的な雰囲気になんとなく興味があるという市民の方々、若い世代の方々にも是非お聞きいただきたいと考えています。繁殖の研究と技術革新が今後の牛の産業の発展に貢献するような知見やアイデアを共有することを目指しています。皆様のご参加を心よりお待ちしております。

【日時など】6月22日(月)13:00~16:30（参加無料 | 帯広市民文化ホール）

【申込締切】6月19日(金)（*詳細は[こちら](#)）

畜大研究情報

（受賞）日本育種学会奨励賞を受賞

環境農学研究部門 准教授 實友玲奈

實友玲奈准教授が、日本育種学会奨励賞を受賞しました。この賞は、育種および育種学上優れた業績をあげ、将来の活躍が期待できる若手会員に対して授与されるものです。受賞した演題は、「バレイショの種間雑種による有用遺伝子導入と一代雑種品種の開発をめざした遺伝的基盤の確立」です。*詳しくは[こちら](#)

（受賞）「第13回日本獣医病理学専門家協会（JCVP）学術集会」において

JCVP奨励賞を受賞

獣医学研究部門 助教 吉田希央

吉田希央助教（獣医学研究部門）がJCVP奨励賞を受賞しました。この賞は、獣医病理学の進歩に寄与する優れた研究を行い、今後さらなる発展が期待される研究者に授与されるものです。受賞した演題は、「イヌの高グレード希突起膠細胞腫の病理発生機序に関する研究」です。*詳しくは[こちら](#)

（実証）外来種排除と作物生産のジレンマ — 受粉サービス低下を野外実験で実証 —

環境農学研究部門 教授 熊野了州

環境農学研究部門 准教授 秋本正博

熊野了州教授（環境農学研究部門）、秋本正博准教授（同）らの研究グループは、北海道東部のカボチャ圃場において、特定外来生物であるセイヨウオオマルハナバチを除去した場合に、作物の受粉機能および収量が低下することを野外実験により明らかにしました。

*詳しくは[プレス発表資料](#)をご覧ください。

お問い合わせ

プラットフォームのみなさまからの
リクエストや相談、お問い合わせを
受付するフォームです。



発行：

国立大学法人北海道国立大学機構
帯広畜産大学 産学連携センター
産学連携推進室

（担当：東・高橋・興水）

〒080-8555

北海道帯広市稲田町西2線11番地

E-mail : crcenter@obihiro.ac.jp

TEL : 0155-49-5771